



明日へ未来へつながる農業⑤

「市田柿登録銀行モデル事業」は、同法人の設立当初から実践されています。高齢化や後継者不足で、管理や収穫ができない柿畑に頭を悩ませている農家から、農業委員会などが相談を受けると、借り手農家を探し、見つからない場合は同法人が無償で借入れ、剪(せん)定、防除、草刈りなどの管理をし、収穫した柿を「市田柿本舗ぶらう」へ販売します。

その事業を実践する団体として、2007年に「NPO法人みどりの風」を設立。同センターからの委託を受け、活動を行っています。

今年度は、「市田柿登録銀行モデル事業」「食品加工販売モデル事業」「遊休農地再生モデル事業」「大豆・そば用コンバイン・フレールモア運営委託管理」などを行っています。

農業者の代表や生産団体、行政が協働で、地域の農業における課題に取り組み、農業の振興を図る飯田市農業振興センター。農業の担い手の育成・支援、遊休農地の解消など、今、農家が抱える問題を軽減しながら未来へ農業をつなぐさまざまな事業の企画、立案を行っています。



柿の木を守り、生産農家を支援する「市田柿登録銀行モデル事業」

飯田市農業振興センター・NPO法人みどりの風

遊休農地の活用に必要な力 そば・大豆用コンバイン・フレールモアが大活躍

飯田下伊那各所で、遊休農地などを活用したそばや大豆の栽培が盛んに行われています。荒廃地を農地に転換し、作物を作る作業は多大な労力を要します。NPO法人みどりの風は、播種機とコンバインを所有し、要望に応じて播種・収穫作業を受託しています。



そばなどの刈り取り、脱穀をしてくれるため、作業効率はぐんとアップ。松川町から根羽村まで、利用申し込みの地域が広がっています。利用条件や料金などのお問い合わせは飯田市農業振興センターへ。

農地再生活用支援事業

●企業と連携して大豆を栽培

飯田市と旭松食品株式会社が締結した地域経済活性化プログラムのパワーアップ協定に基づき、同社は地元産大豆「つぶほまれ」を使った「こやどうふ」や「信州みそ」を開発、製造しています。今年、収穫される大豆もこれらの商品に加工されます。



●リンゴの新しい化苗の栽培委託管理

2008年から飯田市下久堅大原の圃場で、リンゴの新しい化苗の栽培委託管理を始めました。シナノスイートをはじめとする奨励品種の苗、1万5千本を管理し、JAと協働して新しい化栽培の普及に貢献しています。

記事に関する問い合わせ ● 飯田市農業振興センター ☎0265・21・3217

戦略的に農地を借りる

飯田市内郷黒田の果樹農家、北原義治さんは、今年の4月ごろからJAを通して同法人から紹介された、約8^{ルア}の柿畑を借りています。

北原さんが借りた農地は、上郷の南条地区です。「家の周りは標高555^ト。ここよりも早く柿のとれる下段の農地を戦略的に借りました。皮むき機の効率

「市田柿」の生産農家にとっても、「銀行」が役立っています。年々、国内外に知名度が高まり、原料の生柿の需要も多くなっている「市田柿」の生産には、柿の皮むき機の購入や干し場など、農家は大きな設備投資をしています。そのため生産量を増やし、収入を上げる必要があります。しかし、「桃、栗3年、柿8年」というように、柿の木は苗木を植えてから実が成るまで、かなりの年数がかかり、すぐに自分の農地での収穫量を増やせるわけではありません。

「銀行」に登録された畑を借りたり、ほかで収穫された生柿を仕入れたりすることで、生産量を増やす近道ともなります。

柿畑を維持できない農家と、もつと「市田柿」を作りたい農家、両方の支援ができる事業となっています。

「市田柿」の生産農家にとっても、「銀行」が役立っています。年々、国内外に知名度が高まり、原料の生柿の需要も多くなっている「市田柿」の生産には、柿の皮むき機の購入や干し場など、農家は大きな設備投資をしています。そのため生産量を増やし、収入を上げる必要があります。しかし、「桃、栗3年、柿8年」というように、柿の木は苗木を植えてから実が成るまで、かなりの年数がかかり、すぐに自分の農地での収穫量を増やせるわけではありません。



北原義治さんの柿畑。20年前に植えた木が美しく並び、たわわに実をつけています。長い年数をかけて管理された柿の木から「市田柿」が生まれます

を最大限に生かせるように考えて」と北原さんは話します。10月末に収穫を終え、11月から黒田の収穫を始めました。加工に手間のかかる「市田柿」は、作業の段取りが大事。柿の収穫適期が重なる

と、皮むきが追いつかず、予冷庫で保管をしなくてはならないことも。収穫期がずれば、経費も抑えられ、機械の稼働率も良くなります。

今年、同法人が管理している面積は160^{ルア}。柿の木の命をつなぎ、「市田柿」の生産を支える「銀行」。場所や広さなど、条件の折り合いが難しいのが実情ですが、北原さんのようなマッチングが今後も期待されます。